

国連UNHCR協会 教育プログラム

国連UNHCR協会では、「出張授業（出前授業）」や「学習訪問」のご依頼を承っております。難民のことをより身近に自分事として捉えて、アクティブラーニング等さらなる学習につなげていただくために、ぜひご活用ください。また、すでにこれらをきっかけにさらなる学びを深められた実践例やご活用いただけるツールもありますので、以下をご覧ください。各種教育機関および青少年団体等の皆様方のお問い合わせをお待ちしております。

出張授業

学校の授業や全校行事などに講師を派遣しています。教科指導や「総合的な学習の時間」の一環として、また文化祭の発表のための事前学習や全校集会、大学の授業やゼミ等で、難民を取り巻く問題やUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の活動、国際協力などをテーマに講演ができます。東日本・西日本それぞれに担当職員がおります。



当協会が開発した『いのちの持ち物けんさ』『あるものないものワークショップ』などのワークショップ（裏面参照）を用いて行うことも可能です。

また、ご要望により学生団体SOARのメンバーやその他関係者・学生団体と連携することにより、より深い学習効果を創り出します。

時間 : 随時ご相談のうえ決定いたします。

費用 : 原則として、主催者の方に旅費・交通費のご負担をお願いしています。

※オンラインやハイブリッド形式のご依頼も承ります。

※当協会は謝礼金を受け取ることができませんので、国連UNHCR協会へのご寄付をご検討いただけますと幸いです。

※学校での規定との調整や遠方で交通費負担が難しい場合などございましたらご相談ください。



学生団体SOAR

国連UNHCR協会と連携し、大学生のメンバーが『いのちの持ち物けんさ』などのワークショップを中心に難民問題についての出張授業を行っています。

同じ学生だからこそ伝えられる言葉で、児童・生徒のみなさんがこれからの社会を考えるきっかけをつくっていきます。

公式Webサイト : <https://soar4refugees.wixsite.com/soar>



学習訪問

国連UNHCR協会の事務所にお越しいただき、難民やUNHCRについて学習したことをもとに発言していただきながら、講師が質問に答えるなど、さらに学びを深めていく時間を一緒に創っていきます。お越しいただく人数は原則4～15名で承ります。15名を超える場合は別途ご相談ください。

時間 : 原則60分で承っておりますが、随時ご相談させていただきます。

費用 : 特に不要です。

※みなさんによる自主的な募金活動を通してのご寄付をご検討いただけますと幸いです。

ワークショップと学習用ツール

みなさんの教育活動にご活用いただける3つのワークショップをご用意しております。難民について自分事として捉え、国際理解についての学習を深めていくうえでご活用いただけます。これらを用いた数々の実践例が生まれており、生徒のみなさん自身がアクティブラーニングとしてワークショップを実施することもできます。

ワークショップの詳細は、当協会発行の『難民についての授業の手引き』に掲載しております。そのほかにも学習にご活用いただける資料やツールがございますので、詳しくは、最下部に記載されている『難民についての授業の広場』をご覧ください。

『いのちの持ち物けんさ』

【喪失の疑似体験】を通じて生まれる【自分への気づき】を元にして、難民の人たちの心の痛みに寄り添うために「自分にできることは何か」を考えるきっかけをつくること、難民について知ってもらうことを目的としたワークショップ。付箋とワークシートを使用したグループワークで、中高生以上推奨。幅広い気づきを生むことができます。 ※付箋なしver.もあります。



『あるものないものワークショップ』

難民の人々の現状に関する写真から、【難民にないもの】【難民にはあって私たちにはないもの】【難民にも私たちにもあるもの】について考え、自分たちや日本の社会が、現在そして未来においてできることを導き出していくワークショップ。小学校高学年から中学生推奨。課題との出会いを創出できます。



『サトちゃんの大切なもの』

アニメ「難民「サト」のものがたり」の登場人物の動きや表情から、当たり前のように感じている日常が戦争によって奪われていることを知り、自分たちにできることを塗り絵などのツールをとおして考えていくワークショップ。幼稚園年長から小学校中学年推奨。

募金その他の活動について

世界の現状について自ら学び、募金活動を企画し実施することは、国境を越えて他者に心を寄せて行動する道徳的な要素だけでなく、ファンドレイジングについて学びつつ工夫を重ねて探求していく学習効果もあります。募金以外にも難民支援には様々な活動の可能性がございますので、ぜひ担当までお問い合わせください。

ご質問・ご依頼 は、下記の当協会ウェブページをご参照のうえ、Emailにてお問い合わせください。

『難民についての授業の広場』 『出張授業/学習訪問』 『国連難民募金について』

(<https://www.japanforunhcr.org/news/2017/forteachers>)

(<https://www.japanforunhcr.org/news/2017/lectures>)

(<https://www.japanforunhcr.org/news/2024/bokin>)



Email : school@japanforunhcr.org (広報・啓発事業担当)

国連UNHCR協会は、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の公式支援窓口です